

# 新市「匝瑳市」が誕生

## 市職員ら出席し開市式

八日市場市と野栄町の新設合併で二十三日、新市「匝瑳市」が誕生した。市役所本庁舎玄関前で市職員らが出席して開市式が開催され、市長職務執行者の伊藤正勝前野栄町長らの手でテープカットが行われた。



緑豊かな下総台地の広大な丘陵と白砂青松の九十九里浜に代表される自然環境に恵まれた匝瑳市の人口は四万二千余、面積は百一・七八平方キロ。本庁は旧八日市場市、旧野栄町役場は総合支所。両市の議員三十八人の在任特例期間は九カ月で十月三十一日までが任期。

初代市長選は来月十九日告示、二十六日投票の日程で今月三十日には立候補者ら

市役所玄関前でテープカットを行う伊藤正勝市長職務執行者ら

候補予定者説明会が開かれるが、今のところ前八日市場市長の江波戸辰夫氏(ふ)が出席表明しているのみとなっている。

伊藤市長職務執行者は職員らを前にした開市式で、国と地方の財政状況悪化の中、保健、医療、福祉の充実など多様化する市民ニーズにこたえる責務から合併を選択、協議を進めてきた経緯を振り返った。新市の有する

豊かな自然環境、歴史と「ごおり」とし、子孫が物文化などを承げ、「新市部匝瑳(ものものべのそう)」の住民が一九九〇年になって多彩な魅力を持つ活力ある匝瑳市を創造していき「い」とあいさつ。

匝瑳という名称は五世紀の終わりから六世紀初めにかけて畿内の豪族、物部小部(ものものべのお)が現在の関東地方を征した勲功により、朝廷から下総国の一部を与えられ、匝瑳郡(さふさ)には、美しい麻の取れる土地を意味する『狭布佐』とあり、これが匝瑳に転じたと考えられている。

また九百三十年代に編さんされた倭名類聚抄